

平成 26 年 4 月 30 日

各 位

会社名 株式会社加地テック
代表者 代表取締役社長 砥上 剛
(コード番号 6391 東証二部)
問い合わせ先 管理本部長 新井 光司
TEL(072)-361-0881

中期経営計画（2014 年度～2016 年度）について

当社はこのほど2014年度～2016年度の3ヵ年経営計画を策定しましたのでお知らせします。

記

前中期経営計画（2011 年度～2013 年度）の振り返り

当社は、国内市場における設備投資の低迷が続くと予想される中で、中長期的・持続的成長を実現するため、2011 年 4 月より 3 ヵ年の中期経営計画を遂行してきました。当計画では、「国際化の推進」、「コストダウン」および「技術・商品開発」を基本方針とし、設備投資、開発投資、人材育成、輸出営業力強化など 6 つの重点施策を掲げました。設備更新や FCV 水素ステーション用新型圧縮機の開発・市場投入など、将来の飛躍への基盤に繋がる幾つかの施策において一定の成果をあげることができました。海外新規顧客からの継続的な受注やコストダウン活動も進捗しましたが、当計画期間中は、東日本大震災や海外経済の減速を背景に生産や輸出の減少が続きました。2013 年度に入りアベノミクスによる景気回復の兆しが出てきたものの、製造業の設備投資に対する慎重な姿勢が続いたことから、当社の 3 ヵ年累計の業績は低調なものとなりました。昨年度下方修正した当計画での計数目標も未達に終わりました。

新中期経営計画（2014 年度～2016 年度）の策定

当社は前中期計画の反省に立ち、また当社を取り巻く内外の環境変化を踏まえて「更なる品質向上と顧客満足度の高い製品作り」というビジョンのもと、2014 年度から 2016 年度までの 3 ヵ年とする新たな中期経営計画（「中期経営計画 2016」）を策定しました。

1. 方針と施策

「技術力に裏打ちされた収益安定性を目指し、成長市場のニーズに合致する製品を開発・投入する」という基本方針のもと、次の 5 つの方針とそれぞれの施策に取り組むことで「将来の収益基盤の確立・整備」と「安定かつ強固な経営体質の構築」を目指します。

(1) 成長分野への製品開発改良と市場投入

エネルギー需要の構造変化（水素、天然ガスなど）に対応し、市場が求める機能的な製品の提供を実現すべく開発・営業を強化します。前中期計画に続き、燃料電池車（FCV）充填用の超高压水素圧縮機の性能向上とコスト低減に向けた改良を重ねます。また環境対応技術による差別化製品の品質向上と、その拡販を図ります。

(2) 生産性向上

現有工場の設備近代化ならびに VE 設計、生産方式の見直しや生産体制のフレキシブル化により生産性の向上、効率化とコスト低減を目指します。

(3) 技術力の強化と品質向上

熱流体解析・脈動解析等を含む個々の技術力のレベルアップを図るとともに、業務・管理プロセスの見直し、設計の標準化および構成部品の共有化・統合化を推進することで、製品の安定的な品質維持を目指します。

(4) 経営資源（設備・研究開発投資）の投入強化

生産性の向上、効率化を目指し、また品質・技術・価格競争力のある製品を成長市場に提供するため、経営資源の投入を強化します。設備投資には 6 億円を、また研究開発投資には 3 億円を投入します。

(5) 組織体制の最適化構築と人材戦略の強化・推進

組織（本部制の導入）および規則・業務プロセスの見直しを行い、施策の効果が最大化となる機動的な体制づくりを目指します。また、人材活用（採用・育成・配置・評価など）の仕組みを整備・強化することで、人事施策の実効性を高め、人的資源の効率化を推進します。

2. 計数目標

「中期経営計画 2016」の最終年度である 2016 年度の計数として、次の目標を設定します。

<u>経営指標</u>	<u>目 標</u>
売上高	60 億円
純利益	3 億円
ROE	5.4%

以上